

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市子育てふれあいプラザ長町南		
2 指定管理者	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
3 指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 52,910人(前年度比 105.5%) 内訳 ひろば:50,774人 託児:2,136人 ※視察等:859人 令和5年度 50,149人 令和4年度 23,874人		
	《事業》 乳幼児親子の交流の場の提供、一時預かり、子育てに関する情報収集・提供等、子育てを総合的に支援する事業 子育てに関する事業を行う者(子育て支援活動団体)に関する事業、中高生に関する事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 29,372千円 (23,027千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 4,971千円 (4,590千円) ※託児収入 ・ その他収入 178千円 (147千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・意見箱の設置 ・イベント参加者に対してアンケートを実施		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	・法令順守や服務規律について、法人独自のチェックシートを用いて全職員が年度当初に確認している。 ・協定書、仕様書を事務室内の文書棚にて管理し、職員内でいつでも確認できるようにすることで、のびすくの設置目的、基本方針の理解を深めている。 ・イベント、託児等利用者の数が限られるものの受け入れにあたっては、先着順を採用している。問い合わせのみで利用を保留された方には、定員に達した場合は利用できないことを伝えるなど、状況に合わせて丁寧な説明をしていることもあり、利用に関する苦情などはなされていない。	21/21
II 施設の運営管理体制	・業務分担とそれに応じたシフト表を作成しており、全職員が他の職員の業務を把握している。 ・日々のミーティングで業務内容の確認を行うほか、日誌の作成、引き継ぎにより、シフトや出勤時間の違いによる差が生まれないように努めている。 ・指定管理料を適正に執行するため、事業毎に経理書類の作成を行っている。	31/31
III 施設・設備の維持管理	・事故や犯罪を未然に防ぎ、安全な施設運営を行うため、商業施設の警備員による巡回、警察の協力による不審者対応訓練を行っている。 ・節水タイプの蛇口を使用するなど、環境に配慮した行動に努めている。	19/19
IV サービスの質の向上	・法人で実施する研修に参加した職員が、ほかの職員にも資料の供覧や報告を行うことで、職員全体のスキルアップにつなげている。 ・意見箱の設置、利用者アンケートの実施のほか、日頃からひろば内で積極的に利用者とかかわることで、利用者の声を得られやすい体制を整えている。 ・利用者アンケート等から抽出した意見に対し、対策案を講じ、改善している。	28/28
V 施設固有の基準	・発達が気になる乳幼児親子を対象とした「けやきっこひろば」を開催しており、毎回多くの参加がある。地域の発達支援施設の職員と連携し、参加者の希望に応じて必要な支援につなげた。 ・商業施設内にて運営していること、車と公共交通機関のどちらでも来館しやすいことをいかし、地域を問わず多くの利用者を受け入れている。 ・学生のボランティアや職業体験を積極的に受け入れている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）による自己評価》
令和6年度は、仙台市・地域の支援団体と協力し、子育て・親育ち支援に力を入れて取り組んできた。特に長町南は15周年を迎え、地域の支援者の協力を得て様々な遊びのブースや読み聞かせ、ダンスなど、にぎやかに周年祭を開催した。また利用者が主体となる「タイちゃん音楽会」では、演奏者の発表の場を設けると共に、ひろばという身近な場所でのコンサートを楽しんでもらうことができた。「生の音楽を初めて聴いた」との声や、こどもたちが親の側で静かに聞き入る姿が見られた。 令和6年度も季節の趣に合った装飾やイベントを催し、利用者に季節の風物詩や雰囲気を感じてもらえるよう工夫をした。「もりののびすく」は初夏と晩秋に公園に出向き、それぞれの季節に合った遊びを提供し、親もこどもも職員と共に伸び伸びと遊ぶことができた。その後、長町南のひろば利用にもつながった。 一時預かりでは、こどもの様子を詳しく聞き取り、預かりの時間を安心、安全に過ごせるように気を配った。個別の配慮を必要とするこどもの利用が多くあった。個別の配慮を必要とするこどもや、外国の方で日本語が話せない保護者にも、外国語表記の申込用紙や翻訳機能を使いながら、それぞれ丁寧に対応した。 相談目的に来館する人も増え、NoKoCoの存在が浸透していると感じる。敷居の低い相談場所、孤立、孤育てにならないよう保護者の些細な相談にも親身になって対応することに気を配った。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
ひろば事業では、5館の中で最多の利用者を受け入れ、多くの乳幼児親子の支援を行っている。外遊びイベント「もりののびすく」を6月と11月に近隣の公園で実施し、水遊びやしゃぼん玉、どんぐり、まつぼっくりを使った手作りおもちゃで、季節の自然に触れあいながら遊べる環境を提供した。 一時預かり事業では、快適な託児室内の整備、職員の質の向上に努め、利用者が安心して子どもを預けることができる環境を整えた。託児中だけではなく、お迎え時のコミュニケーションも大切にし、保護者に対し子どもの託児時の様子を事細かに伝えた。発達に特性がある子どもの利用の際は、必要に応じて受け入れ人数を調整するほか、のびすく子育てコーディネーター（NoKoCo）と連携しながらその後の支援にもつなげている。 令和6年度には新しく「アイデアぼすと」を設け、利用者からの質問を掲示し、それに対するアイデアが数多く集まり、コーナーを通して利用者間の交流を深める取り組みをしている。 また、紙おむつや離乳食などで、未使用ながら不要になってしまったものを回収し、「はーとバンク」として館内窓口に設置し、利用者から好評を得ている。寄附数、利用数ともに年々増加しており、取り組みが定着してきている。 このほか、中高生の職業体験や看護学生の実習を受け入れたことで、地域の子育てに対する関心向上に努めている。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども家庭部子育て応援都市推進課